

LEAN MANAGEMENT MELALUI IMPLEMENTASI '5S': SEIRI, SEITON, SEISO, SEIKETSU, SHITSUKE'

【5S ～ あまり知られていない仕事のムダを解消する実践方法】

(中・上級編) 対象者：ミドルマネジメント・現場管理者・経営者

有名な5S — 5つのSの順番とそれぞれの役割を説明できますか？

- ・人材育成と事業の成長を同時に望める5Sのパワー。しかし、残念なことにそのパワーの恩恵を受けている会社は多くありません。
- ・5S活動を始めて何年も経つのに、お客様が来る前に大掃除。その場合、5Sの理解と実践方法が間違っている可能性があります。



日本発の5Sは世界各国でさまざまな解釈を経ながら幅広く実践されています。しかし、ほとんどのケースで5Sのもつパワーが活かし切れていない現状には驚きます。多くの場合、5S活動が上からの指示による清掃活動の一部のように位置づけられ、その結果、本来の効果を得られていません。単なる片付け道具のように使われているのです。5Sと聞くと、どうも社内ポリスに取り締まられている気がする。おかしい話です。そもそも5Sは仕事を楽にするためにあるのです。うちでは5Sをやっているのだが、事務所も工場もなかなかキレイにならない。そんな現場で見つかるのは、5Sの”間違った理解”、そして”効果が出ない実践方法”です。当然やる気も起きません。そうすると本来の効果が出ないどころか、5S活動そのものが目的化して仕事を増やしてしまったりする逆効果も見られます。

こちらのセミナーでは、初級から上級まで3段階の5Sで、仕事のムダを解消する実践的手法を学びます。

仕事のムダを省くと、すべてのスタッフの仕事の付加価値が上がり、その過程で人材育成が、結果として事業の成長を導くことができます。

中途半端な理解で5Sを進めることを止めて、仕事のムダが省かれて価値が上がる本当の5Sの効果をチームで味わってみませんか？

プログラム (3時間半) 3つの5S概要説明：

① 初級編～ 個人スペースのムダを省く

② 中級編～ 共有スペースのムダを省く

③ 上級編～ 組織活動のムダを省く

分け方	レベル	初級	中級	上級
	対象	モノ		コト
	エリア	個人スペース	共有スペース	組織活動
前提	目的	快適性	利便性	生産性
	目標	わくわくする姿	あるべき姿	めざす姿
	判断規準	個々のフィーリング	共通の管理基準	共通の方向性
5S	整理	ときめかないものを捨てる	使わないものを捨てる	要らない活動を止める
	整頓	自分が使い易いように並べる	皆が使いやすいように並べる	皆に分かるよう活動を視える化する
	清掃	ときめかないもの、使い難さ見直す	使わないもの、使い難さを見直す	不要な、視え難い活動を見直す
	清潔	やり方を決める	やり方を標準化する	活動の視える化をキープする
	躰	やり方を守る	標準を守る	進捗をフォローする
実践	手法	OS・ときめき	3定・影絵管理	7つの視える化ツール

仕事のムダが多いと感じる

どこから手をついたら良いかわからない

仕事のムダを解消する5Sを学ぶ

モノからコトへ、3タイプの5Sを理解

それぞれの実践的手法を学ぶ

メリット
・事業利益の増大
・人材育成が進む